

2024年12月12日

報道機関各位

学校法人 塚本学院
大阪芸術大学

**【イベントレポート】
世界的ストリートアートプロジェクト
「JAPAN WALLS 2024 in SHIRAHAMA」に、
美術学科卒業生の中山誠弥氏が参画！**

大阪芸術大学（学校法人塚本学院／所在地：大阪府南河内郡／学長：塚本 邦彦）美術学科の卒業生であり、現代美術作家としてNYを拠点に活動する中山誠弥氏が今回初めて参画した、「JAPAN WALLS 2024 in SHIRAHAMA」が2024年10月21日～26日の期間に和歌山県白浜町で開催されました。



2024年に中山さんが手掛けた『GO YOUR OWN WAY』と
2023年の松本さんの作品『ねずみのANDY』が1つに収まる印象的な風景

ストリートアートプロジェクト「JAPAN WALLS 2024 in SHIRAHAMA」

日本で9度目の開催となる今回は、世界のアートカルチャーシーンを牽引する10名のアーティストが集結し、中山氏はその中の1人として選ばれました。中山氏が作品を描いた場所は、塚本学院白浜研修センターの外壁。普段から壁画の経験は多数あるものの、極端に横に長くカーブ掛かっている外壁へのアートは、中山氏にとって1つの挑戦であったそう。

『GO YOUR OWN WAY』に込められた想い

作品のコンセプトである『GO YOUR OWN WAY』には、現代を生きる若者への想いが込められています。中山氏は、「今の日本は、本当の自分を生きていくことが難しいような気がします。ルールを踏み外さないよう、ひとり孤立してしまわないよう、常に周りにあわせてばかり。同調圧力で息苦しさを覚えている現代の若者たちへのメッセージとして選んだ言葉が『GO YOUR OWN WAY -自分自身の道を進め-』です。コンポジションもこの言葉を中心に組み立てました。」と、語りました。



「JAPAN WALLS」ならではの異質な2つの作品が織りなす風景が誕生

6日間という限られた期間の中で完成された『GO YOUR OWN WAY』。作品を正面から見ると、“子どもたちの為に”をミッションとしたアーティストコレクティブ『コベルズ』でも共に活動している松本セイジ氏が昨年手掛けた『ねずみのANDY』と同居した風景となります。さまざまなアーティストの作品が1つの町で共存する、まさに「JAPAN WALLS」ならではの魅力です。



現在、仕事の95%をInstagramで受けている中山さんより「アーティストとして活動するためには、やはり誰かに見つけてもらう、認めてもらうことが必要です。今はインターネットという身近な手段があるからこそ、アーティストを夢見る在学生の方たちは、その環境を存分に利用して、とにかく続けてほしいですね」と最後に学生へのメッセージをいただきました。

今後も大阪芸術大学は、学内活動だけではなく課外活動や産学連携プロジェクトなどを通じて、未来ある方々が才能を発揮し、自身の夢をつかみ取っていただけるよう尽力してまいります。

■中山誠弥氏 プロフィール



大阪府出身。大阪芸術大学美術学科卒業。

大阪の公立中学校で美術教員として勤務した後、2012年に渡米。2019年、クラフトビールのパイオニア「Brooklyn Brewery」のミューラルを手掛けたことで、一躍注目を浴び、現在はブルックリンを拠点にコンテンポラリーアーティストとして活動。

国内外のギャラリーや美術館、アートフェアで作品を発表するほか、企業のグッズやノベルティのデザイン、社屋やオフィスのミューラル、タイアップイベントでのライブペインティングなど幅広いジャンルで活躍。“子どもたちの為に”をテーマに掲げたアーティストコレクティブ「コペルズ」のメンバーでもある。

Instagram : <https://www.instagram.com/msynkyma/>

オフィシャルサイト : <https://www.masayanakayama.com/>

■「JAPAN WALLS 2024 in SHIRAHAMA」とは

ストリートアートプロジェクト「WORLD WIDE WALLS」は、ハワイのオアフ島カカアコ地区で誕生し、今やアメリカ本土にとどまらず、日本や台湾など世界中の12都市で開催されるプロジェクトとなりました。今年で9度目となる開催は、ハワイ・ワイキキビーチの姉妹浜である白良浜を中心とした和歌山県白浜町を舞台に開催されました。

■「JAPAN WALLS 2024 in SHIRAHAMA」概要

- ・開催期間：2024年10月21日～26日
- ・場所：和歌山県白浜町 各所